

人気作家×演奏家による、
新感覚のクロストーク&コンサート!

劇場が結ぶ、 本と音楽の世界

vol. 3 2022年12月3日(土) 「マリコとオペラ」
林真理子(作家) × 小林沙羅(ソプラノ) × 望月哲也(テノール) × 河野紘子(ピアノ)

vol. 2 2022年9月15日(木) 「マチネの終わりに」
平野啓一郎(小説家) × 大萩康司(ギター)

vol. 1 2022年6月16日(木) 「羊と鋼の森」
宮下奈都(作家) × 金子三勇士(ピアノ) × 外山洋司(調律師)

【会場】オーバード・ホール
【ナビゲーター】浦久俊彦(文筆家・文化芸術プロデューサー)



劇場が結ぶ、本と音楽の世界〈全3回〉

- ◆会場：オーバード・ホール
- ◆ナビゲーター：浦久俊彦(文筆家・文化芸術プロデューサー)

vol.1 「羊と鋼の森」 2022年6月16日(木) 19:00開演
宮下奈都(作家) × 金子三勇士(ピアノ) × 外山洋司(調律師)

vol.2 「マチネの終わりに」 2022年9月15日(木) 19:00開演
平野啓一郎(小説家) × 大萩康司(ギター)

vol.3 「マリコとオペラ」 2022年12月3日(土) 15:00開演
林真理子(作家) × 小林沙羅(ソプラノ) × 望月哲也(テノール) × 河野紘子(ピアノ)

チケット[全席指定・税込]

1回券 一般：3,000円/ジュニア：1,000円
シリーズ通し券 一般：7,500円/ジュニア：2,400円

※ジュニアは小学生から高校生までが対象です。 ※未就学児入場不可。
※シリーズ通し券はアスネットカウンター、アスネットオンラインのみ取り扱い
ます。 ※車椅子席はアスネットカウンターのみ取り扱い。電話もしくは
は窓口までお問い合わせください。

チケット発売日

アスネット会員先行：4月16日(土)のみ
一般発売：4月24日(日)～

プレイガイド

- アスネットカウンター(オーバード・ホール1階)
TEL.076-445-5511 営業時間/10:00～18:00
定休日/月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み)
 - アスネットオンラインチケット
www.aubade.or.jp (24時間予約可能)
 - チケットぴあ t.pia.jp (Pコード：215-081)
 - ローソンチケット l-tike.com (Lコード：54403)
- ※チケットぴあ、ローソンチケットは1回券のみ販売します。

【主催】(公財)富山市民文化事業団、富山市
【共催】北日本新聞社、北日本放送、FMとやま
【お問合せ】(公財)富山市民文化事業団 総務企画課
〒930-0858 富山市牛島町9-28
TEL.076-445-5610(平日8:30～17:15)

最新情報はHPをご覧ください。

Q オーバード・ホール
http://www.aubade.or.jp



ご来場される皆さまへ
お知らせとお願い

〈ご来場者情報 登録のお願い〉
チケットご購入のお客様は、ご来場
の前に下記QRコードよりご連絡先
の事前登録にご協力ください。



※ご来場の際は、マスクを着用く
ださい。手洗い、手指の消毒にご
協力ください。

※やむを得ない事情により、出演者・
曲目等が変更になる場合がございます。
公演中止・延期を除き、お
買い求めいただいたチケットの
キャンセル・変更等はできません。

※新型コロナウイルス感染対策を講
じて実施します。感染状況によっ
ては公演の開催に変更が生じる
場合がございます。ご来場前
にはオーバード・ホール公式HPで、
最新情報ならびにその他の「お
願い事項」をご確認ください。

※オーバード・ホールには駐車場
がございません。お近くの有料
駐車場をご利用ください。公共
交通機関のご利用をおすすめし
たします。

BOOK & MUSIC

劇場が結ぶ、 本と音楽の世界

「言葉」と「音楽」が織りなす至福のひと時をご一緒に。

音楽をこよなく愛する作家と、日本を代表する演奏家たちが「言葉」と「音楽」で
対話する、これまでにないコンセプトのコンサートシリーズが、富山で初開催!
音楽入門講座でお馴染みの浦久俊彦がナビゲーターとなり、皆様を“本と音楽の
世界”へお連れします。

毎回、今を時めく人気作家・演奏家が出演し、作品内に登場するクラシック
音楽や、登場人物の心理描写などを深掘りしていきます。なごやかなトークととも
に美しい音楽を味わい、文学と音楽の新たな魅力に出会うひと時。クラシック
音楽ファンはもちろん、読書愛好家の皆様にもお楽しみいただけるコンサートです。



【ナビゲーター】
浦久俊彦
(文筆家・文化芸術プロデューサー)

URAHISA Toshihiko

一般財団法人欧州日本芸術財団代表理
事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカ
ホール音楽監督。著書に『フランツ・リス
トはなぜ女たちを失神させたのか』、『悪
魔と呼ばれたヴァイオリニスト』、『ベ
ートーヴェンと日本人』(新潮社)など。

©新津保建秀



オーバード・ホール(富山市芸術文化ホール)
〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28

vol. 1

「羊と鋼の森」

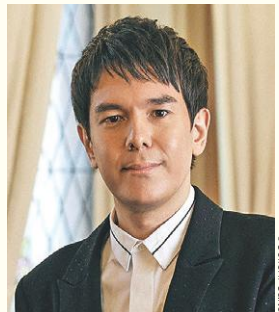
2022年6月16日(木) 19:00開演(18:00開場)

2016年に本屋大賞を受賞、映画化もされ話題となった、若き調律師の物語『羊と鋼の森』。ピアノの音に魅せられた作家×世界的若手ピアニスト×カリスマ調律師が、様々な視点で作品の魅力に迫ります。



宮下奈都 (作家)
MIYASHITA Natsuo

福井県福井市生まれ。2004年、「静かな雨」が文學界新人賞佳作に入選。著書に「スコレNo.4」、「遠くの声に耳を澄ませて」、「よるこびの歌」、「太陽のバス、豆のスープ」、「田舎の紳士服店のモデルの妻」、「誰かが足りない」など。『羊と鋼の森』で2016年本屋大賞を受賞。



金子三勇士 (ピアノ)
KANEKO Miyuji

国立リスト音楽院大学、その後東京音楽大学卒業、同大学院修了。第22回出光音楽賞他、受賞。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」にレギュラー出演。2021年には日本デビュー10周年を迎え、2022年3月には新譜CD「フロイデ」をリリース。キシマロシユ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。



外山洋司 (調律師)
TOYAMA Hiroshi

ヤマハの調律学校に学ぶ。スタインウェイピアノの音に惹かれ、東京の松尾楽器商会に入社。独ハンブルクのスタインウェイの工場で「整備」を重点的に学んだ後、全国のコンサートホールのスタインウェイの修理、保守管理、内外ピアニストのコンサート調律を担う。2015年 einklang の屋号で独立。

【演奏曲】

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調 op.27-2「月光」

ショパン：即興曲第4番嬰ハ短調 op.66 (幻想即興曲)

ワルツ第6番変二長調 op.64-1「小犬のワルツ」 ほか



◆ 『羊と鋼の森』
文春文庫
著者：宮下奈都
定価：本体680円(税別)

ゆるされている。世界と調和している。それがどんなに素晴らしいことか。言葉で伝えきれないなら、音で表せるようになればいい。ピアノの調律に魅せられた一人の青年が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。

◆ 映画『羊と鋼の森』
監督：橋本光二郎
主演：山崎賢人



vol. 2

「マチネの終わりに」

2022年9月15日(木) 19:00開演(18:00開場)

芥川賞作家・平野啓一郎のベストセラー小説で、2019年に福山雅治・石田ゆり子主演で映画化もされた『マチネの終わりに』。作中にも登場したクラシックギターの演奏とトークで作品の魅力を語り合います。



平野啓一郎 (小説家)
HIRANO Keiichiro

『日蝕』で第120回芥川賞を受賞。著書に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』等。2019年に映画化された『マチネの終わりに』は累計60万部超のロングセラー。『ある男』の映画も2022年公開予定。

【演奏曲】

タレガ：アルハンブラの思い出

パリオス：大聖堂

ガーシュウィン：サマータイム

菅野祐悟：幸福の硬貨 (マチネの終わりにメインテーマ) ほか

◆ 『マチネの終わりに』
文春文庫
著者：平野啓一郎
定価：本体850円(税別)

クラシックギタリストの蒔野と、海外の通信社に勤務する洋子。初めて出会った時から、強く惹かれ合っていた二人。しかし、洋子には婚約者がいた。やがて、蒔野と洋子の間にすれ違いが生じ、ついに二人の関係は途絶える。互いへの愛を断ち切れぬまま、別々の道を歩む二人の運命が再び交わる日はくるのかー

◆ 映画『マチネの終わりに』
監督：西谷弘
主演：福山雅治
石田ゆり子



大萩康司 (ギター)
OHAGI Yasuji

パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクール第2位、合わせて審査員特別賞「レオ・ブローウェル賞」を受賞。第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学、大阪音楽大学各客員教授。

vol. 3

「マリコとオペラ」

2022年12月3日(土) 15:00開演(14:00開場)

音楽に造詣が深く、オペラ好きで知られる作家・林真理子のセレクトによる、珠玉のオペラ・アリアと魅惑のクロストーク。歌手とピアニストが奏でる極上の「音楽」と、繰り広げられるトークによる「言葉」で、オペラの魅力に触れるステージをご堪能ください。



林真理子 (作家)
HAYASHI Mariko

1985年『最終便に間に合えば』、『京都まで』第94回直木賞を受賞。1995年『白蓮れんれん』第8回柴田錬三郎賞を受賞。1998年『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。2011年 レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受賞。2018年 紫綬褒章受賞。2020年 第68回菊池寛賞受賞。



小林沙羅 (ソプラノ)
KOBAYASHI Sara

東京藝術大学大学院修了。2012年ブルガリア国立歌劇場で欧州デビュー。野田秀樹演出『フィガロの結婚』や岡田利規演出『夕鶴』など、多くの話題作で主演を務め、今最も勢いのあるソプラノとして注目されている。2017年第27回出光音楽賞、2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。



望月哲也 (テノール)
MOCHIDUKI Tetsuya

東京藝術大学卒業。同大学院、二期会オペラスタジオ修了。新国立劇場をはじめ数々の舞台で活躍するほか、C.デュトワ指揮『サロメ』(上海公演)に出演。近年では2020年新国立劇場『アルマゲドンの夢』に出演。国立音楽大学および大学院准教授。二期会会員。



河野紘子 (ピアノ)
KONO Hiroko

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を卒業。桐朋学園大学音楽科嘱託演奏員、二期会研究所ピアニストとして勤務。アンサンブルに定評があり、音楽祭やコンサートその他、小林沙羅氏のアルバムの録音に参加するなど、多くのアーティストと共演を重ねている。

【演奏曲】

プッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より わたしのお父さん

歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ

歌劇「ラ・ボエーム」より 愛らしい乙女よ 二重唱 ほか

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。